



水平対向エンジンのために開発された ベストバランスのエンジンオイル

スバル純正プレミアムエンジンオイル
レ・プレイアド・ゼロ 0W30

LES PLÉIADES ZÉRO 0W30

<http://www.pleiaades-zero.com>

WEBサイトも
要チェック!



高粘度規格のエンジンオイルじゃなきゃ
スバルボクサーエンジンは守れないの？

90年代。初代、2代目のインプレッサ
やレガシイが登場した頃、ターボ車のエ
ンジンオイルと言えは高温時の粘性が
重要で、直列エンジンを含めチューニン
グすると粘度規格で50あたりの数値の
ものが主流だった。

当時スバルの水平対向エンジンはヘ
ッド周りからオイルが漏れると当たり
前のように言われ、そのため低温時もカ
タメの数値のオイルがマストとされて
いた。また、純正指定が鉱物油だった時
代でもあり、BH型レガシイの時代で、
各種EJ系(EZ30含め)のメーカー推
奨オイルが5W・30。使用可能オイルと
して10W・30が提示されていた。さら
に、EJ20型エンジンをベースにカスタ
ムシヨップでエンジン廻りのチューニ
ングを行った場合、5W・40、10W・40、
15W・50などのグレード・レンジのオイ
ルが推奨された時代もあった。

翻って現代。もちろんそういった規格
やエンジンオイルを使うシチュエーシ
ョンというのが残っているのかもしれ
ないが、それはもはや「使うオイルまで
セットで考えて組んであるようなハー
ドチューン・エンジンくらいのもの」と
言う時代になっている。純正オイルのゲ
レードも初代レヴォーグのFA20型搭
載車が5W・30となるものの、FB16型
搭載車では0W・20となっており、純正

トタルがトタルエナジーズに名称変更!



レ・プレイアド・シリーズをリリースしてきたト
タル・リブリカントは2021年5月28日、トタルエ
ナジーズへ名称変更された。トタルエナジーズ
というネーミングは、すべてのエネルギーを示す
複数形(エナジーズ)という言葉で、それぞれの
特徴を内包するという意味を持たせつつ、それら
を集約したひとつかたまり(トタル)としての集合体
を表現しているという。ロゴは英文表記の
TotalEnergiesのTとEを連続したものとして
描き、かつ7色のカラーでバリエーション豊富な
エネルギーを表現、そのエネルギーの旅を示した
シンボリックなものとして描かれている。

エンジンとしての高パフォーマンスを
発揮しているが、低粘度指定へと進ん
でいるのがトレンドだ。

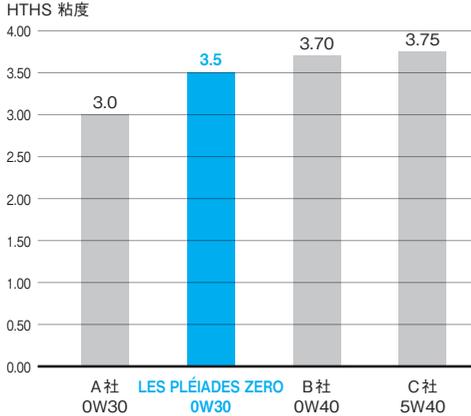
そのトレンドはもちろんSUBARU
U水平対向エンジンそのものの進化に
よる部分大きい、それを支えている
要素として、エンジンオイルの進化があ
るのも間違いない。従来であれば欲し
くても達し得なかった「剪断に強く」かつ
「攪拌抵抗が少ない」という二律背反と
もいえる要素をクリアしたオイルとい
うものが登場してきたことが、開発に欠
かせなかったことも事実だろう。そんな
進化系エンジンオイルの中でもさらに
上位の性能を持つオイルの代表選手と
いえるのが、「レ・プレイアド・ゼロ0
W30」だ。

SUBARU車のために開発された
エンジンオイルがある

それが「レ・プレイアド・ゼロ」だ!

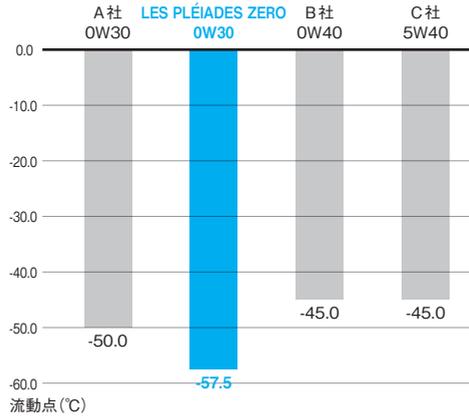
トタルエナジーズが開発し、SUBARU
技術本部が評価、認証を行ったエ
ンジンオイル、レ・プレイアド・ゼロ0

高温時の油膜特性 (HTHS 粘度比較)

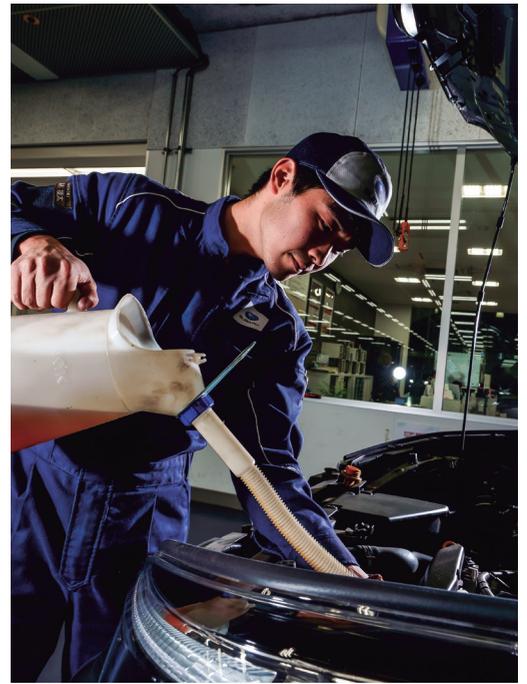


一般的なOW30より約17%高温時の油膜が厚く、これは他社のOW40、OW50と同等の油膜特性を持っていることになる。このデータがターボ車にも適していることを証明している。

低温時の粘度特性 (低温流動性比較)



低温時の流動性も、一般的なOW30と比べレプレイアド・ゼロOW30の方が約15%優れている。気温が低いときのエンジンスタート時の摩擦を低減し、エンジンの保護や燃費向上にも繋がる。



レプレイアド・ゼロはどこで交換することができる?



ディーラーで入れられるという 敷居の低さも魅力のひとつ

高品質のスポーツオイルは専門店などで交換するのが一般的だ。レプレイアド・ゼロOW30は、SUBARU純正のハイクオリティエンジンオイルのため、当然、全国のSUBARUディーラーで交換が可能。さらに「点検パック」のオイル交換付きプランに入っている人や、「SUBARU CARD」メンバーの人は、お得な価格でプレミアムオイルである「レプレイアド・ゼロ」を入れることができる。これらの特典をうまく利用してハイクオリティなオイルを一度体験してみよう。

W30は、SUBARU純正指定の100%化学合成油。2.5時間のエンジンベンチ試験をクリアしたSUBARU水平対向エンジンの最適解ともいえるエンジンオイルだ。

過去にターボ系EJエンジンを乗り継いで来たオーナーにとって、粘度が低めとなるOW・30というグレードは、極的には運びにくい粘度規格にみえるだろう。特に気になるのは高温時の性能。しかし、レプレイアド・ゼロOW30は一般的なOW・30の製品より、高温時の油膜が17%厚く、エンジン保護性能が高い。その値はOW・40や、5W・40相当のイメージだという。それでいて低温時のオイル流動性も優れており、冬期の気温が下がった環境でもエンジン始動時の摩擦を低減する。加えて低回転から高回転までフリクション（粘性抵抗）が少なく、優れたエンジンレスポンスも実現するという。

水平対向エンジンはピストンが左右に動いたため、油膜を均一に保持するのが

難しいエンジン。特にターボエンジンでは、高温、高回転、高負荷という環境に置かれる場合があり、従来ならば高粘度のオイルで油膜保持をしてきた。しかし、それはより高い摺動抵抗を伴いやすく、燃費悪化につながる選択でもあった。それを低粘度といえるOW・30というグレードでありながら、広い温度域で高い油膜保持を実現しているのが、レプレイアド・ゼロOW30ということになる。

つまり「剪断に強く」かつ「摺動抵抗が少ない」という理想のオイルなのだ。

**伝統のEJ系はもちろん
新型BRZを含む
FA&FB系へ対応する広い適合範囲**

最新のSUBARU車となる新型BRZ「ZD8」のFA24型エンジンの推奨銘柄に、レプレイアド・ゼロOW30がリスト入りしているように、EN07、EL15、EJ15、EJ20、EJ25、EZ30、EZ36、FB16、FB20、FB25、FA20、FA24と、レガシイ登場以降の歴代SUBARU水平対向エンジンのほぼすべてに適合している。

しかし、残念ながら新型レヴォーグVN5型、現行フォレスターに搭載されるCB18型のエンジンオイルは、より低燃費を狙った低粘度仕様様のOW・16という新設定のグレードとなっており、現在のところ適合していない。レプレイアド・シリーズは5代目レガシイの時代からラインアップされているオイルだけに、その評判も高く、リピート率の高いオイルとしても名高く、歴代の愛車で愛用してきたオーナーの方も多い。そんなオーナーたちがCB18型搭載車に乗り替えて、これまでの愛車と同様のクオリティを求めるシチュエーションもあるだろう。新しいレプレイアドのリリースなどに期待したいところだ。

編集部のB9ベッカ君も愛用中!!



EZ30搭載のB9トライベッカでも愛用中のレプレイアド・ゼロOW30。一番最初に投入してすぐに感じたのはエンジン音が静かになったということ。厳密に言うと、エアコンの音が異様に耳につくようになった。それだけエンジン音の静粛性が高くなったということだ。また、いままと同じ感覚でアクセルを踏むと、明らかにOW30を入れる前より速度が上がっている。よりスムーズにエンジンが回っている証拠だ。そして昨年の冬、気温がグッと落ちた日の朝にキーを回したときのエンジン始動が少し引かかるというか、なんかワテンボ遅れる感じだったのが、エンジンオイルを新しく交換することで、そのひっきり感が解消。スムーズにエンジンがかかって気持ちいい感じだった。冬にも強いOW30を実感しております!